

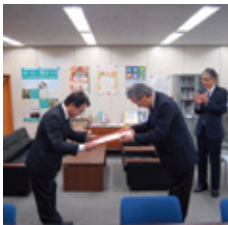
FUJISAN NETWORK

News

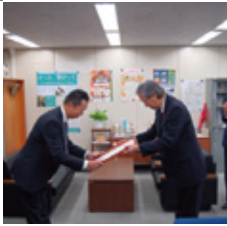
富士山保全の寄附金授納

マックスバリュ東海株式会社(長泉町)とハーゲンダッツジャパン株式会社(東京)から、ふじさんネットワークに計約133万円の寄付を頂きました。贈呈式は、平成30年11月9日(金)に静岡県庁で行われ、マックスバリュ東海は静岡県内109店で募った募金105万円を、ハーゲンダッツジャパンは同じ109店舗で販売した同社製品の販売額1%に相当する約28万円の目録を贈呈しました。マックスバリュ東海は通算

15回目、ハーゲンダッツジャパンは通算5回目の寄付となり、ふじさんネットワークの増澤武弘会長から感謝状が手渡されました。寄附金の累計が100万円を超えたマックスバリュ東海には静岡県知事の感謝状も授与されました。贈呈式後の懇談で増澤会長は「富士山を脅かす外来種対策は急がないと手遅れになる。寄附金は外来植物撲滅をはじめとした活動に、効率よく活用したい」と語りました。



マックスバリュ東海株式会社
の窪田保総務部長
(左)に感謝状を贈呈する
増澤会長。



ハーゲンダッツジャパ
ン株式会社の伊倉正雄
営業本部長(左)に感謝状を贈呈
する増澤会長。



寄附金贈呈式の出席者全員で記念撮影。

FUJISAN NETWORK

Report

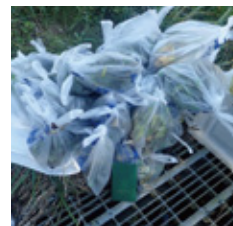
外来植物撲滅大作戦Ⅱ



道路脇の草むらで注意深くオオキンケイギクを探す参加者。



活動前に外来植物の生態や、どのように除去すれば拡散されないかなどを学ぶ講義を受講した。



除去したオオキンケイギクはごみ袋に密閉して処分した。ロゼット状で見つけにくかったが、参加者は熱心除去活動を行なった。

富士山麓では毎年多くの車や人が往来し、その周辺道路沿いではいくつもの外来植物が確認されています。外来種は繁殖力が強い種が多く、放置すると在来種の生育地を奪ってしまいます。そこで富士山の自然環境を守るため「外来植物撲滅大作戦Ⅱ」を実施。昨年11月24日に公募ボランティア30名とNPO法人富士山クラブ職員、静岡県環境局自然保護課職員が富士山環境交流プラザに集合。公募ボランティアに外来植物

について学んでもらった後、実際に除去作業を体験してもらいました。今回の活動では、富士市桑崎と大淵の国道469号線において、オオキンケイギクを根っこから引き抜きごみ袋に。当日のオオキンケイギク除去成果は11.5kgになりました。参加者からは「宝探しみたいで楽しい」という意見や、「もっとバラけて作業した方が効率的」という意見など、富士山周辺の環境保全に対する意欲的な意見が多数寄せられました。